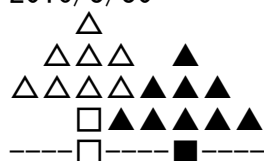


2016/3/30

林業試験場メールマガジン



『北の森の達人』

Vol. 46 第46号

□■□読者の皆様へ□■□

いつも林業試験場メールマガジン『北の森の達人』をお読みいただき、ありがとうございます。

■「光珠内季報」の178号とグリーントピックス第52号を発行しました。
「光珠内季報」は、WEB版のみの発行となりましたので、当場のホームページ (<http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/about/kanko.htm>) よりご覧いただきますようお願いいたします。

■刊行物ダイジェスト・・・・・・・・光珠内季報第178号（2016.3発行）

- 1 カラマツ種子を発芽促進処理せずにコンテナに播くとどうなるか・・・・・・・・ 1頁
カラマツ種子を低温湿層処理せずにコンテナに播くと処理しないときに比べて発芽率が17ポイント低下したため、その低下を抑える技術が求められる。苗長成長は遅れるものの1年で十分な大きさになるが、苗長成長を抑え、根元径の成長を促進して形状比（苗長／根元径）を低くする育苗技術が必要である。
- 2 ニセアカシアの萌芽再生能力の春夏秋冬・・・・・・・・ 6頁
ニセアカシアの萌芽再生能力の季節性を検証したところ、伐採時期による萌芽再生能力は、夏<秋<春<冬の順で高い傾向があった。根萌芽による再生力は、地表を被覆する草本の群落高に大きな影響を受けていた。駆除を目的とするのであれば、伐採後に発生した萌芽枝の摘み取りがより効果的だった。

・・・・・・・・グリーントピックス第52号（2016.3発行）

- 1 スギ雄花・種子数の年次変動予測
- 2 ドローンによる保残伐実験区の撮影
- 3 調査実施による企業の森づくり活動支援を行いました

■平成28年度の研究ニーズを募集します

林業試験場では、皆様のニーズや地域の要望に応じていくことを念頭に、現場で活用されるための技術の開発に取り組んでいます。試験研究を実施するにあたり、広く道民の方々からご意見をいただきながら、効率的で透明性の高い業務の遂行に努めて参りたいと考えています。
研究ニーズの募集の詳細については、当場のホームページよりご確認ください。

